

島民

中之島の「街事情」マガジン

春号 Vol.129
2019.4/1



ミュージアムズ
トピックス



ナカノシマ大学

「歴史の「つくり、方」
木下昌輝 高島幸次

申し込み受付中!

MUSEUMS
TOPICS #1

北御堂
ミュージアム

NEW
OPEN

御 堂筋の名の由来でもある北御堂
こと本願寺津村別院に、今年1
月、「北御堂ミュージアム」がオー
ンした。

決して広くはないミュージアムだが、
復元模型や鳥瞰図など現代的な展示手
法によって、本願寺や大阪の歴史がコ
ンパクトに凝縮されている。

例えば、入るとすぐに見える歴史の
ガイドウォール。親鸞聖人に始まる浄
土真宗の発展と大坂本願寺から現在の
北御堂に到るまでの流れが、まるで絵
巻物のように描かれている。

一番の見どころは、かつて大阪城の
建つ場所にあった大坂本願寺の寺内町
の復元模型。1000分の1の縮尺で、
最新の学術研究の成果を元にしたリア
ルな再現がすごい。大阪近世史の第一
人者である大阪歴史博物館（P5）の
学芸員の大澤研一さんをはじめ、本願
寺史料研究所や建築関係者が結集し、
何度も話し合いが行われた末に完成し
た大作だ。

北御堂に堂々完成！
大阪の歴史を学べる
本格派ミュージアム。





自然地盤の調査から寺内町や坊舎の規模や造りを再現。土塁の深さや堀の幅、建物の配置も当時の土木技術を踏まえたもので、どの道がどの村に繋がっていたかなど、細部まで最新の研究成果が反映されている。



生駒山の上空から16世紀の大坂の地形を鳥瞰した図。上町台地の北端を中央に、大阪湾～神戸・淡路島方面を望む。



大阪大空襲により全焼したことを受けて再建された現在の北御堂。設計者・岸田日出刀による木製の建築模型。



スイッチを押すと10分間の迫力ある映像が始まる北御堂シアター。大阪と北御堂のつながりがわかりやすく学べる。

その背景となる壁面には、大坂本願寺があった16世紀の大坂の様子を描いた鳥瞰図が描かれ、なぜこの場所に大坂本願寺が開かれたのか、地形の面からも理解することができる。模型を手前にして眺めれば、ジオラマのようになる仕掛けもいい。

図史料の展示や大阪と北御堂の歴史を10分間の映像でコーナーも。建築好きには、北御堂の設計者である岸田日出刀の建築模型もたま

らない。
ミュージアムの設立プロジェクトが始まったのは2年前。企画広報室の藤原慶人さんは、「今までは大阪の歴史や浄土真宗の教えは、門徒さんたちが親子から子へと語り継いでくださいました。しかし、時代と共に家族のあり

大阪の街と本願寺の縁は切っても切れないが、為政者の観点から語られることが多い歴史の教科書では、なかなか取り上げられない。「歴史はやはり権力者や戦いに勝利した側が脚光を浴びることが多いですね。でも、それとは異なる視点からの歴史もぜひ学んでほしいですね」と藤原さん。大阪の人たちが大阪の歴史を自らの言葉で表現できるようになればと期待を寄せている。

方が変化し、世代間のつながりが薄れつつある中、私たちが自ら伝えていかなければ」と、ミュージアムの役割について話す。

北御堂ミュージアム

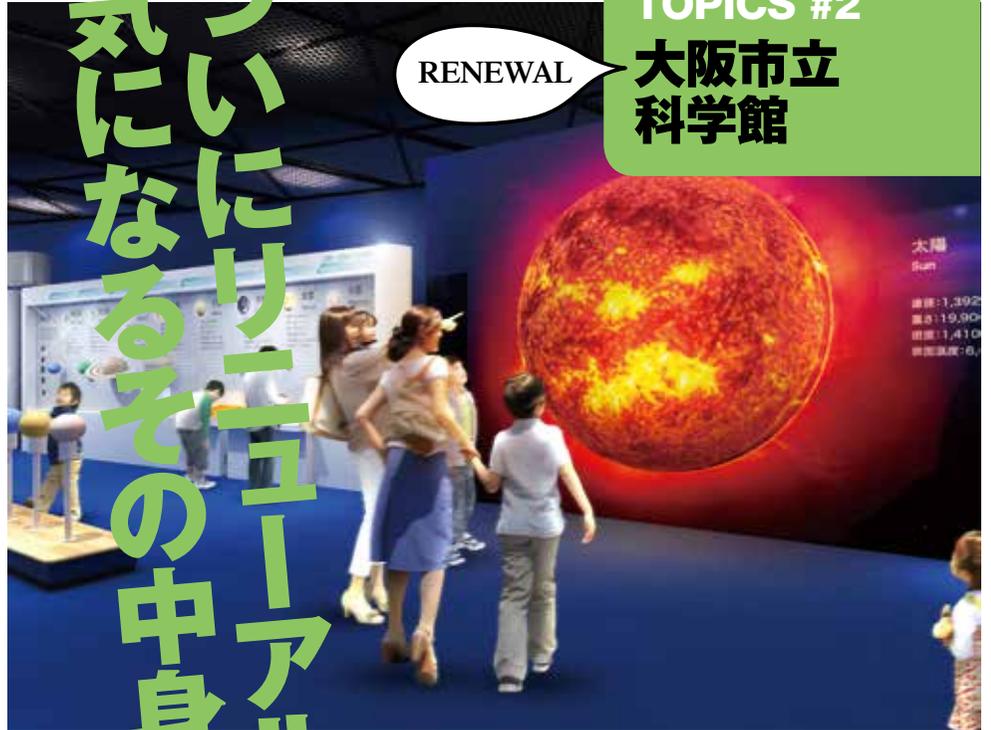
北御堂を中心とした浄土真宗本願寺派の歩みを、さまざまな展示手法で解説したミュージアム。特に大坂本願寺については模型や鳥瞰図を駆使し、大阪の歴史の中に位置づけて理解できるよう工夫されている。観覧無料・入場自由。御堂筋に面して新しくできた入口を入ってすぐ。

☎06-6261-6796 10:00AM～4:00PM
無休(別院の都合により休館の場合あり)



全長40mにわたる歴史ガイドウォール。誰が見てもわかるように仏教用語を一つひとつかみ砕き、丹念につくられたそう。現代的にビジュアライズされてカッコいい。

RENEWAL



展示場4階に新たに登場する展示。プロジェクションマッピングにより、太陽の活動をリアルに観察できる。

ついにリニューアルオープン。 気になるその中身は？

約

4ヶ月の休館を経て、3月30日、大阪市立科学館がついにリニューアルオープンを果たした。気になるその内容をいち早くご紹介しよう。

まずはプラネタリウムホールでは、新しい投影機「インフィニウムOSAKA」がデビュー。高輝度LEDを搭載し、星の明るさを表現する精

度がぐんとアップ。肉眼で見られる1等星から6等星までの違いをはっきりと認識できるようになった。

ここには科学館の考えるミュージアム像も反映されている。リニューアルに関わった天文担当学芸員の西野藍子さんは、「私たちが目指しているのは、来館者の方々に宇宙により深く興味を

持つてもらいたいこと。プラネタリウムもその第一歩です。だからこそ、肉眼で見られる星の数(9000個)や明るさにこだわり、華やかさよりもリアルを追究しているのです」と話す。

西野さんが強調したのは、「プラネタリウムに来てもらうことがゴールではない」という点。自分の目で見て、考える。ミュージアムとは、あくまでそのきっかけを提供する場でありたいというわけだ。

もう一つの大きなリニューアルは展示場4階の改装。テーマである「宇宙

とその発見」に変わりはないが、約3分の1の展示が新しいものに入れ替わった。5億分の1の大きさの太陽を模した半球に、人工衛星の観測映像をプロジェクションマッピングにより投影するなど、ここにも最新の展示技術が導入されている。また、実物の元素を一覧できる周期表も、新たに発見された113番目の元素「ニホニウム」の名称を加えて新たにつくられた。

今回のリニューアルでは1億円規模の予算をかけ、新規製作や改修を含めて40点以上の展示を一新。これを機に久々に足を運んでみてはいかが。

大阪市立科学館

実物資料や実験装置に触れながら、科学や物理学の原理を学べるミュージアム。学芸員のライブ解説によるプラネタリウムやサイエンスショーも大人気。また、今回のリニューアルに合わせて、プラネタリウムおよび展示場の観覧券(個人向け)をインターネットで事前に購入できるようになった。

☎06-6444-5656 9:30AM~5:00PM(展示場の入場は4:30PMまで)プラネタリウム最終投影4:00PM~(土・日・祝日などは5:00PMから)月曜休(休日の場合は翌平日)



プラネタリウムホールでは投影機と共に座席の配置も変更。どの席からでもより快適に星空を楽しめる。



リニューアルされる展示場4階のイメージ図。実物の元素を一覧できる周期表の展示も新しく登場。

ミュージアムは「いつ行っても同じ」と思っていないませんか？

特別展やリニューアルは別として、ミュージアムはいつ行ってもほしいと同じ？ いやいや、例えば大阪歴史博物館の平成29年度の年報を見れば、計55回も「常設展示更新」が行われている。意外に多いと思わないだろうか。

これについて、大阪歴史博物館の学芸員・寺井誠さんは次のように話す。「歴博の常設展の場合、フロアごとにストーリーがあり、私の担当する10階の古代フロアは難波宮が中心です。一方で、難波宮以外にも興味深いテーマは多く、それらは特設コーナーをつくって展示しています。考古学担当の学芸員では2ヶ月に1回の交代制で行っています」。

常設展の更新は、時代ごとに分かれた各フロアでも行われているそう。「常に新しいものを提供したいという意識がある」と寺井さんが話すように、最新の研究成果をいち早く展示したり、あるいは季節に合わせて絵画や美術工芸品を入れ替えるといった粋な計らいもあるそうだ。

それこそ作品一つの変更から、壁側の大きな展示ケースの中身を丸ごと入れ替える比較的大規模なものまで。これらは博物館のホームページで随時発信されている。

また、大阪歴史博物館では、新しく寄贈された作品や資料の一部を紹介する「新収品お披露目展」や、最新の発掘調査の成果を伝える「新発見！なにわの考古学」など、新しいものを市民に公開する機会を設けている。特別展やリニューアルばかりが目立つが、こうした小規模な更新やミニ企画展まで含めれば、ミュージアムは常に変化していると言えるのかもしれない。

ところで、これらの更新作業はいつ



取材時、10階の古代フロアの一部には、特設コーナーが設けられ、「長原遺跡で見つかった古代の農具」が展示されていた。パネルや解説文も、学芸員の方々がこのためのものを用意する。

行われているのか？ 実は休館日に行われていることが多いそう。そのため「休みだと思われがちですが、休館日の方が忙しかったりするんですよ」と寺井さん。まさに一夜にしてミュージアムは変貌しているわけだ。



大阪歴史博物館

古代から近代・現代まで、大阪の歴史を体感できる博物館。フロアごとに時代が分かれており、建物や橋を復元したダイナミックな展示手法は、海外からの観光客にも大人気。常設展観覧料600円。

☎06-6946-5728 9:30AM~5:00PM(※特別展会期中の金曜は8:00PMまで、入館は閉館の30分前まで) 火曜休(祝日の場合はその翌日)

特集展示「新収品お披露目展」

市民からの寄贈によって、近年新しく館蔵品となった作品や資料をお披露目。今年は明治42年(1909)のキタの大火の被害を示す絵葉書をはじめ未公開の約15件が展示される。

期間／5月8日(水)～7月8日(月)
観覧料／常設展観覧料で見学可

「花見どき」青木豊園筆(大正～昭和初期・大阪歴史博物館蔵・坂本宏子氏寄贈)



「北の大火絵葉書」(明治時代・大阪歴史博物館蔵・大門康郎氏寄贈)

昨

年3月のオープンから1年を
かけて行われていた開館記念展「珠
玉の村山コレクション」シリーズも好
評のうちに終了。ようやく1周年を迎
えたばかりの中之島香雪美術館だが、
初めてとなる特別展がこれまたすごい。

「明恵の夢と高山寺」は、数々の業
績を遺した鎌倉時代の高僧・明恵にス
ポットを当てる。同館館長の白倉恒介
さんは、「明恵は自らのみた夢を長年
にわたって記録していました。村山龍
平もこの膨大な『夢記』の一部を収集
しています。今回の特別展では、『夢記』
を手がかりにして『夢を見る明恵』と
いう新たな切り口を提示したいと思っ
ています」と意気込みを語る。

また、明恵は後鳥羽上皇から与えら
れた京都・梅尾の地で高山寺を再興し
たが、その高山寺が所蔵する国宝「鳥
獣戯画」全4巻も出展される。有名な
この作品は、朝日新聞文化財団が助成
して大がかりな修理を行ったというつ
ながりもあり、朝日新聞創刊140周
年を記念した展覧会としても位置づけ

開館から1周年。 初の特別展には国宝も。



上/ 国宝「鳥獣戯画 甲巻(部分)」(平安時代・12世紀・高山寺蔵) ※前期のみ | 4月14日まで展示
下/ 国宝「鳥獣戯画 丙巻(部分)」(鎌倉時代・13世紀・高山寺蔵) ※後期のみ | 4月16日～5月6日に展示

られていた。開館から1年。なかなかのスタート
ダッシュを見せる中之島香雪美術館だ
が、白倉さんほどのような感想を持っ
ているのだろうか。

「1年間の開館記念展を通じて、お
客様からは『落ち着いた雰囲気の中、
静かで見やすいですね』という声をた
くさんいただき、手応えを感じていま
す。今後も日本や東アジアの古い時代

の美術品を中心に、年4～5回の展覧
会を開催していく予定です」
中之島の超高層ビルの中にある都市
型美術館が、今後どんな展開を見せる
のか。地元の島民こそ注目しておこう。



村山コレクションから、明恵の書いた「夢記」
(鎌倉時代・13世紀)も展示される。



国宝「明恵上人樹上坐禅像」
(鎌倉時代・13世紀・高山寺蔵)
※後期のみ | 4月16日～5月6日に展示

特別展 「明恵の夢と高山寺」 朝日新聞創刊140周年記念

国宝の「鳥獣戯画」全4巻のほか、同じく
国宝の「明恵上人樹上坐禅像」も展
示される。なお、前期と後期で展示替え
があるためご注意ください。

期間/5月6日(月)まで(前期 | 4月14
日まで、後期 | 4月16日～5月6日)
開館時間/10:00AM～5:00PM
(※入館は4:30PMまで)
休館日/月曜
(ただし4月29日・5月6日は開館)
入館料/1,300円
問い合わせ ☎06-6210-3766

MUSEUMS TOPICS #4

大阪市立東洋陶磁美術館

NEW COMER



青磁長頸瓶 銘「鏡」南宋時代・13世紀、龍泉窯(住友グループ寄贈・安宅コレクション) 撮影/六田知弘

大 阪市立東洋陶磁美術館には、昨年
から働き始めた新人学芸員がいる。
「まだまだ勉強中です」と話す、巖由季子
さんに、現在のお仕事ぶりや今後の目標
についてうかがった。

にとつてはそれがとても印象的で、陶磁器
を修復して使うことの意味を考えるよう
になりました。最近注目されている金継
ぎも繕った箇所をあえて目立たせるわけ
ですが、独特の美意識だと思います」

新人学芸員さん
聞きました!

2年目となる今は館蔵品の勉強や作品
の扱い方、展覧会を行うために必要な
りとりを先輩の隣で見ながら学んでいる
最中。4月6日(土)から始まる特別展「文
房四宝」もそうであるように、美術館自
体が陶磁器に留まらずに扱う領域を広げ
つつある。「付いて行くのに必死です」
とちよつと不安な表情を覗かせながらも、
「さまざまなケースに対応しながら、多
くの方に楽しんでいただける展覧会を企
画できる学芸員になりたい」と意気込み
を語る巖さんであった。



堆朱人物文筆(明時代中期)

日本美術や茶道具に対する関心から、
大学院時代は「漆継ぎ」をはじめとする
日本の伝統的な陶磁器の修復技術につ
いて研究していたそう。漆継ぎは鎌倉時代
の遺跡から出土した陶磁器にも見られ、
古くから根づいた技
法だが、その興味の
深め方が面白い。
「学生時代に当館
の所蔵作品である青
磁長頸瓶 銘「鏡」を
見ました。ヒビが入
った部分を金属で修
理し、それが作品の
銘になっている。私

特別展「文房四宝 —清閑なる時を求めて—

筆・墨・硯・紙の「文房四宝」は中国の
文人たちを魅了した工芸品でもあった。
明～清時代を中心とする文房具約
150点を揃えたこれまでにない展覧会。
期間/4月6日(土)～6月30日(日)
時間/9:30AM～5:00PM
(入館は4:30PMまで)
休館日/月曜(ただし4月29日、5月6日
は開館)および5月7日(火)
観覧料/一般1,200円
問い合わせ ☎06-6223-0055

MUSEUMS TOPICS #5

国立国際美術館

NEW COLLECTION

**新しい収蔵品が
もたらすもの。**

「コレクション特集展示 ジャコメッティと I」

ジャコメッティの《男》、《ヤナイハラ I》(1960-61年)を中心
に、ジャコメッティと同時代のヨーロッパの芸術を中心とした
絵画や彫刻作品の展示も。
期間/5月25日(土)～8月4日(日)
時間/10:00AM～5:00PM(金・土曜は8:00PMまで、7-8
月の金・土曜は9:00PMまで、入場は閉館の30分前まで)
休館日/月曜日(ただし7月15日は開館し、翌日休館)
観覧料/一般430円(金曜・土曜の5:00PM以降は夜間割
引料金250円) ※同時開催の展覧会の観覧券で観覧可。
問い合わせ ☎06-6447-4680
◎8月27日(火)からは続編となる
「コレクション特集展示 ジャコメッティと II」も開催。



アルベルト・ジャコメッティ《ヤナイハラ I》
(1960-61年・国立国際美術館蔵)
撮影/福永一夫

国 立国際美術館にスイス生まれ
パリで活躍した彫刻家アルベル
ト・ジャコメッティの《ヤナイハラ I》
が新しく加わった。
彫刻のモデルは日本人哲学者の矢内原
伊作。矢内原はジャコメッティにとつて
かけがえないモデルであり、1956
年から1961年の間に繰り返し渡渡し、
モデルを務めた。しかし、矢内原をモデ
ルとしたブロンズ彫刻のうち完成に至っ
たのは2作品のみで、すべての鑄造を合
わせても世界に7体しか現存しない。い
かに貴重な作品かがわかるだろう。
ところで、美術館や博物館の収蔵品が
増えるというのは何の変哲もないこと
のように思えるかもしれない。だが、私
たちが思う以上に、それはミュージアムに
とつて大きな意味を持っているという。



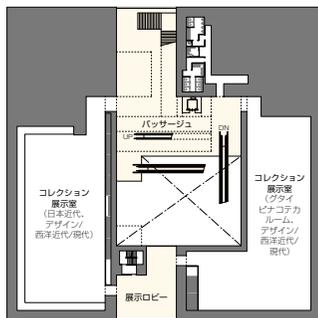
アルベルト・ジャコメッティ《男》
(1956年・国立国際美術館蔵)

国立国際美術館ではすでに同じジャコ
メッティの油彩画《男》を所蔵している。
今回新たな作品が加わることで、「作家
が生涯をかけて取り組み続けた彫刻と絵
画による創作活動を、その両面から紹介
できるようにになりました」と広報担当の
冬木明里さん。「新たに加わる作品が、
すでにあるコレクションをまた違う光で
照らし、それまでは見えづらかった角
度からの視点や作品同士のつながりに気
づかせてくれることにもなります」。一
つは、単にその作品を観られるように
するだけではなく、広がりを持っているのだ。

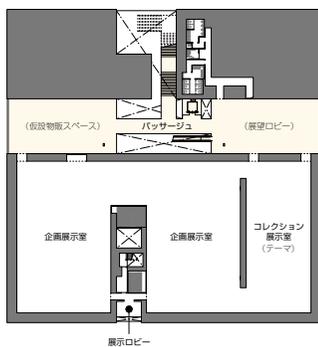
大阪中之島美術館のキーワード。

い。3月末によいよ建設工事が始まった大阪中之島美術館。
さん自身によるレクチャーによって、改めてご紹介しよう。

資料提供／大阪中之島美術館準備室
遠藤克彦建築研究所



4階平面図



5階平面図

り、北側の芝生広場を緩やかに上がってきたところにエントランスがあります。入口は計3箇所。メインとなるであろう北東側に一つ、南側の国立国際



美術館からブリッジを渡ったところの一つ、西側からくる人を意識して西北の角にもあります。

中に入ると面的に広がったエントランスがあり、ここでもイベントやレクチャーができるようになっています。1階から5階までは吹き抜けでつながっていて、パッサージュが連続していく立体的なロビー空間が広がっています。

●3～5階

エスカレーターに乗ってさらに上がります。3階は収蔵庫しかありませんので、一般の方は入れません。4階に到着すると、エスカレーターを乗り換え、まずは5階に上がってもらいます。エスカレーターに導かれて、パッサージュが東西から南北に向きを変えながら続いていきます。

5階は企画展示室とコレクション展示室です。ここは天井高6mのいわゆるホワイトキューブの展示空間ですが、稼働パネルなどでどんな展覧会でもフレキシブルに使えるようにしています。その後、階段でゆっくりと4階へ降りてきます。もちろんエレベーターも利用可能です。4階はジャンルごとに分かれたコレクション展示室があり、大阪市が所蔵する素晴らしい作品をご覧ください。特にここでは光の量や高さにすごく気をつけて設計していて、貴重な作品や日本の書のように光に弱いものを使った展示も可能です。

そして、中之島にもゆかりのある具体美術協会の作品や活動を紹介するグタイピナコテカルームを出て、最後はまたエスカレーターで2階へ降りていくという空間体験ができるわけです。

KEY WORD.3 単純なもの複雑なもの

パッサージュを複雑に重ねて積み上げていき、すごくシンプルな四角い建物から、その空間を引き抜いていく。そこを訪れる方のために提供するという設計です。

みなさんの中ではやはり黒い箱のイメージが強いと思いますが、同時にその中にどれだけの複雑性を詰め込めるかということにチャレンジしています。誰もあの四角い建物の中に、こんな複雑な空間体験が内包されているとは思いませんよね。でもこれがすごく重要で、このパッサージュの断面モデルの検討にとっても長い時間をかけました。

こんな風に「複雑なものが単純なものに内包されている」というのが現代という時代ではないでしょうか。私はよくiPhoneを例に挙げますが、昔の携帯はボタンがいっぱいあって、その数だけ機能がありましたよね。今はもうボタンすらなくなった。でも、非常に複雑なことができる。つまり、シンプルなものの向こう側に可能性が秘められている、そういう時代なのかなと思っています。

3月末に建設工事が始まりました。2年3ヶ月の工期があり、建物は2021年の6月末に完成します。そこから運営の問題をチェックし、空気質などの基準もすべてクリアした上で、2021年度中の開館を予定しています。

コンベからの2年間はあつという間だったので、これからの3年もあつという間に過ぎてしまうのかもしれませんが。事務所も近いことですし、私たちも現場に張り付いて、素晴らしい建物になるように頑張ります。



◎このページは、3月2日にアートエリアB1で行われたトークイベント、「中之島の記憶と未来:アーカイブが語る都市空間」において、遠藤克彦さんが行ったレクチャーを元に再構成したものです。

この美術館の建設はコンペが行われるまでに35年、着工までに37年という長い時間をかけたプロジェクトです。その間、ずっと関わってこられた美術館準備室をはじめとする方々のご尽力には頭が下がるばかりですが、2017年のコンペでご選定いただいて以来、私たちも設計に邁進しておりました。実施設計を終え、入札のためのコスト調整なども終わり、いよいよ3月末に工事が始まります。

KEY WORD.1 中之島の東西をつなぐ

それでは建物の話をさせていただきます。建物自体は敷地の南側に寄せて、建物四面をしっかりとデザインした設計です。北には堂島川、東には関電ビルと「中之島 四季の丘」があり、そしてすぐ南側には国立国際美術館があります。つまり、美術館の三方はすでに風景として存在していて、そのにぎわいを考慮することができました。しかし、西側だけは、どのようにするのかコンペの段階でも決まっていませんでした。

そういう意味では、「見えていない未来」に対して設計側は準備をしなければならない。そこでどんなことがあっても恥ずかしくないように、四方にきちんと正面性を持つ建物になっています。

また、この場所が中之島の中で持つ意味を大切にしました。美術館が壁のように立ち塞がり、人の流れが遮断されてしまうのは、中之島にとっていいことではありません。そういう「結節点」となるような美術館が求められているのではないかと考えたのです。

そこで東側にある関電ビル、そして南側の国立国際美術館との間を歩行者デッキで結び、地域全体がネットワークしていく計画になっています。魅力ある川岸の風景をつくっていくためにはこんな風に場所と場所をつなげていくことが必要だと考えました。

駐車場のあたりには、地下に江戸時代の蔵屋敷の船入遺構が眠っています。そこには構造物を入れてはいけないことになっていましたから、駐車場やその上の芝生の広場に関する構造物も、一切そこには触らない計画となっています。

KEY WORD.2 フロアを貫くパッサージュ

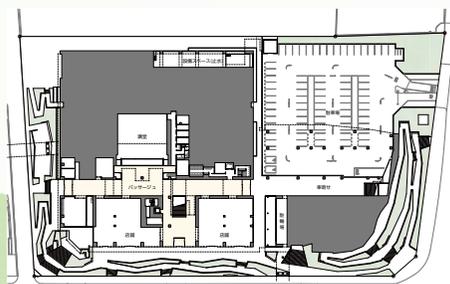
各フロアの構成を大まかに言うと、1階部分には駐車場と飲食店などのサービス施設、2階にメインエントランスがあり、そして3階より上が美術のエリアになっています。

3階以上の美術品があるエリアを上を持ち上げた理由としては、やはり南海トラフ地震を含めた災害対策の意味合いが非常に大きいです。電気を含めた設備がなければ美術品はダメになってしまいますが、その対策をしっかりやった上で、物理的にも水に浸かる心配はないということはやはり大きい。そこで本計画では、3階に収蔵エリア、そして4階・5階に企画展示室と常設展示室を設計しています。

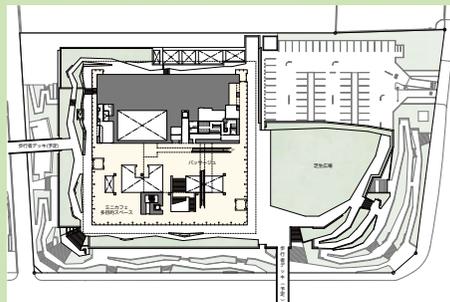
これらのフロアの間を「パッサージュ」というロビー空間が縦横無尽に貫いています。パッサージュとは何か？この美術館にとってはロビー、あるいは市民がくつろげる美術を取り巻く公共空間をこう呼んでいます。平面図の

遠藤克彦さんと学ぶ、

中之島のミュージアムの話と言えば、こちらを忘れてはいけな
それはどのような思想を持った建築なのか。設計者の遠藤克彦



1階平面図



2階平面図

黄色の部分ですね。パッサージュが建物全体の内部で立体的に展開し、来館者はここを巡る計画になっています。

●1階

1階のパッサージュは、駐車場から連なり、南北に延びていて、東側から入ることができます。1階にはホールがあるため、そのホワイエ（ロビー）としても機能し、催しへ行く時は、駐車場からそのままホールへ入ることができる。そういうフレキシブルなパッサージュです。

また、街はグラウンドレベルが大切ですから、東側の道路沿いにはレストランやカフェなどのサービス施設を用意しています。

●2階

メインエントランスは2階です。地面から5～6mほど高いレベルにあ



◎今月の授業

【歴史と創作】

どこまでが
「真実」なのか?

2019年5月講座

「歴史の〴〵作り、方」

対談/
木下昌輝 (小説家)

きのした・まさき
1974年奈良県生まれ。
小説家。日本史の知ら
れざる部分に光を当てる、
着眼点のユニークな作
風で人気を博す新進気
鋭の若手作家。2012年
『宇喜多の捨て嫁』で第
92回オール讀物新人賞
を受賞し、デビュー。
2017年・2018年と2年
連続で直木賞候補に。



高島幸次
(大阪大学招聘教授・
大阪天満宮文化研究所)

たかしま・こうじ
1949年大阪生まれ。
大阪大学招聘教授。専
門は日本近世史。大阪
天満宮文化研究所員も
務め、天神祭研究の第
一人者。落語にも精通
し、落語会やイベントの
企画も多数。著書に、上
方落語のネタから大阪
の歴史を読み解く『上
方落語史観』(140B)など。

大阪ゆかりの歴史小説家と日本史研究者、
異なる立場で「歴史」と向き合う2人が
史実の読み方と創作の舞台裏を語り合う。

中旬発売予定の最新作『金剛の塔』は、
世界最古の会社として有名な金剛組と四
天王寺の五重塔をモチーフにするなど、
大阪ゆかりの作品も多い。

小説はもちろんテレビドラマや映画な
ど、歴史をモチーフにした創作は数多い。
これらは時に歴史に対して忠実に、また
時にはフィクションを交えながら、読む人
や観る人を物語の中に引き込む。史実と
創作、どちらを強調するかは作家の腕の
見せ所となるわけだが、今回はその歴史

の扱い方の部分に着目してみたい。
歴史小説家の木下昌輝さんは、デビ
ュ作『宇喜多の捨て嫁』をはじめ過去3
回直木賞候補に挙がるなど注目を浴びて
いる。大阪在住の作家としても知られ、
上方落語の祖とされる米沢彦八が主人
公の『天下一の軽口男』があるほか、5月

対談のお相手はおなじみ高島幸次先
生。言わずと知れた大阪の歴史や天神祭
研究のエキスパートだ。歴史を巧みに操
り創作を行う小説家、史実を明らかにし
ようとする研究者、同じものに接しても、
見え方は異なるはず。両者のまなざしの
違いから、歴史の面白さを考えてみよう。

募集要項	<p>「歴史の〴〵作り、方」</p> <p>日時／2019年5月29日(水)</p> <p>7:00PM～8:30PM頃(開場6:30PM～)</p> <p>会場／大阪府立中之島図書館 別館(2階)</p> <p>受講料／1,800円</p> <p>定員／80名</p> <p>主催／ナカノシマ大学事務局</p>	<p>お名前・ご住所・電話番号・人数・講座名を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。複数名でご参加希望の場合、ハガキ、ファックスについては、人数分の必要事項を明記してください。</p> <p>〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号 「ナカノシマ大学5月講座」受付係 FAX.06-6484-9678</p> <p>※先着順で受付後、4月20日前後より受講票をお送りします。 ※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。 ※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。 ※当日のお車ならびに自転車でのご来場はご遠慮ください。</p>
------	--	--

ナカノシマ大学の最新情報は

<https://nakanoshima-daigaku.net/>

ケータイや
スマホからは
こちら→



お問い合わせ
☎06-6484-9677
(ナカノシマ大学事務局)

四月席のご案内

申込受付中

●お題「病と医師」

「こわいもの知らずの患い方」

記念すべき平成最後の天神寄席のゲストは仲野徹さん。ご自身の専門分野を一般の人にもわかりやすく書いた著書『こわいもの知らずの病理学講義』（晶文社）が7万部を突破。近著『あまり病気をしない暮らし』も絶好調のヒットメーカーだ。今月のネタは、さまざまな病に苦しむ人びとがたくさん登場する。果たしてその病は治るのだろうか…。鼎談ではふだんは聞けない(?) 医学部や医療界の裏話を聞かせてもらおう。

落語／桂文喬「研修医 山田一郎」
桂文之助「短命」
桂文之助「短命」
桂九雀「崇徳院」
高島幸次「大阪大学医学部教授」
桂春團治

コンとゲストの漫才?先生で面白い面びはまるにかくの仲野徹さん。

ナカノシマ大学でお得な前売り券を発売中!

開催日／2019年4月25日(木)
開演時間／6:30PM(開場6:00PM)／受付開始5:45PM)
受講料／2300円(通常・前売2500円)／当日3000円
お支払い方法／当日(5:45PM)、繁昌亭入口付近の「ナカノシマ大学受付」にてお支払いください。
※予定枚数に達し次第、予約受付を終了します。※ナカノシマ大学では当日券の販売は致しません。
●お申し込み方法、お問い合わせ先はP10を参照してください。



「研修医 山田一郎」は文喬さん自身の大学病院での入院経験がモチーフになっている。



文之助さんのネタは「短命」。美人の娘のお婚さんは1年足らずで次々と亡くなってしまふ…。一体何の病氣なんだらう。

イラスト／フジワラモコ

二月席の二コマ

御来場御礼

鼎談「古墳の笑い声」

山田幸弘(藤井寺市世界遺産登録推進室長)
高島幸次 桂春團治

高 2月25日は菅原道真公が太宰府でお亡くなりになった日です。「正しい埋葬礼」という今日のテーマにはびつたりですね。実は山田さんのおられる藤井寺市と道真公も繋がっているんですよ。

山 そうなんです。菅原道真の祖先は十師氏と言います。藤井寺には道明寺と道明寺天満宮がありますが、以前は土師寺と土師神社という名前だったんです。道真公は学問の神様ですし、土師の人たちも学問をよくされていきました。ただ、土師氏と言えば、土器を作ったり古墳の築造に関わる人というイメージが強かったため、姓を菅原に変えたんです。ちなみに、土師氏からは、菅原氏の他にも大江氏や秋篠氏が出ています。

高 そうなんです。大阪天満宮のこの辺りの地名も「大江」でした。春 ちよつと整理させて！つまり大阪には大きな天神さんが二つあって、大阪天満宮と道明寺、どっちが古いんです？

山 道明寺です。太宰府で道真公が亡くなった後、遺品が道明寺天満宮に送られて、今でもお堂に伝えられています。

高 歌舞伎の「菅原伝授手習鑑」の中にも「土師ノ里の段」がありますが、非常に難しいそうであまり演じられていません。春 確かにわたしの記憶にもありません。

3 月6日の夜、京阪電車なにわ橋駅構内にあるアートエリアB1

に、中之島のキーパーソンが集結した。顔を揃えた面々の所属を挙げると、中之島香雪美術館（P6）、グランキューブ大阪、大阪中之島美術館（P8）、大阪市立東洋陶磁美術館（P7）、大阪市立科学館（P4）、国立国際美術館（P7）、そしてフェスティバルホール。中之島の主だった文化施設が網羅されている。

そのタイトルは「中之島文化ネットワークを考えるラウンドテーブル」。ご記憶の（あるいはこの場にいた）読者もおられるであろう、2月号で特集したアートエリアB1の進める地域連携プロジェクト「クリエイティブ・ 아일랜드・ラボ 中之島」の一環で、今後の中之島に必要なネットワークのあり方を話し合おうというもの。円形のテーブルを囲んで、まさに顔を突き合わせての議論が行われた。

アートエリアB1の木ノ下智恵子さん曰く「逃れられない場所を持った人たち」だけに、議論は現在の課題に則しつつ、今後の展望や期待を含みながらも、非常に現実的で内容の濃いものとなった。

各施設共通の課題は、客層の幅を広

中之島の重要人物がなにわ橋駅に集った。

参加メンバーは、白倉恒介さん(中之島香雪美術館 館長)、奥野元さん(株式会社大阪国際会議場 営業部 誘致開発課長)、菅谷富夫さん(大阪中之島美術館準備室 室長)、出川哲朗さん(大阪市立東洋陶磁美術館 館長)、富田和俊さん(大阪市立科学館 副館長)、中井康之さん(国立国際美術館 副館長兼学芸課長)、西部宏志さん(フェスティバルホール 支配人)の7名。司会進行は、今井涉さん(公益財団法人サントリー文化財団 顧問/上席研究フェロー)と木ノ下智恵子さん(大阪大学共創機構社会学共創本部 准教授/アートエリアB1運営委員)。



げるアクションや、文化芸術ゾーンとしてのポテンシャルをどのように発信していくかという点。また、以前に比べればかなり改善されてきてはいるものの、夜間の楽しみ方や東西の行き来をどのように増やすかなども拳がった。同時に、それらを解決する糸口として、中之島内のネットワーク構築の重

要性を誰もが認めるところ。単なる現状把握だけでなく、「歩車分離が進めば」「夜よりも朝の方が可能性があるのでは」「美術館を貸し切るプレミアアムツアー」など、具体的なアイデアが飛び出したのも面白かった。もともと素晴らしい個性が集まっているのだ。それが集まり、動き出せば、魅力的な

之島に来れば何か面白いことがあると、特に目当てはないけれど行ってみようという人も増えている。これからもっと良くなりますよ。アジアの美術シーンの中心となるポテンシャルを秘めていると思います」
それを実感できる日は、そう遠くないのかもしれない。

プログラムがたくさん生まれてくるに違いない。
参加者の意見のどれもが中之島の一面を捉えたものだったが、中でも、司会を務めたサントリー文化財団顧問の今井涉さんが、「中之島の先輩」と評した東洋陶磁美術館の出川哲朗館長の言葉は実感がこもっていた。
「もう30年近く中之島で働いてきましたが、昔に比べれば最近の発展ぶりはすごい。中

ちよと、隣のビルまで。

取材・文／葭谷うらら



第30回

【竹尾 淀屋橋見本帖】@淀屋橋odona

紙と印刷と人が出会う場所。

ワーカーたちが忙しそうに行き交う淀屋橋odonaの1階で静かにたたずむ、いかにもプロユースな店構え。「見本帖」という言葉にピンとこなければ、扉を開けるのはちょっと勇気がいるかもしれない。

ここは紙の専門商社である株式会社竹尾が運営するショップ&ギャラリー。「見本帖(帳)」とは印刷などに使う用紙のサンプルのことで、店内に4,600種類以上ある紙のサンプルを見て、用途にあった紙を購入することができる。

紙なんてどれも同じではと思われがちだが、見本帳の束を手にとってみると、凹凸のあるものから光沢のあるものまで「こんなに種類があるのか!」と目を見張るほど、さまざまなタイプがある。

「紙を買う方法はいくらでもあって、インターネットでも簡単に買えます。でも、質感や風合い、本来の色は画面ではわからない。だからこそ実際に紙に触れてもらえる場所が必要なんです」と語るのは竹尾の山下祐生さん。訪れるのはやはりプロが中心だそうで、デザイナーをはじめ、企業や設計事務所など、さまざまな形で紙と関わる人が、スタッフと相談しながら用途や好み合った紙を見つけていくという。

竹尾では大阪のほか、東京と福岡にも合わせて5店舗の「見本帖」を運営している。その中で淀屋橋の大きな特徴となっているのが、店内にハイデルベルグ社の



活版印刷機が稼働するのは土・日・祝日。時間帯は日によって異なる。



活版印刷で刷られたオリジナルのポストカード(1枚270円)。淀屋橋や大阪の川をモチーフにしたデザイン。



竹尾 淀屋橋見本帖

老舗の紙専門商社である竹尾が運営するアンテナショップ兼ギャラリー。約270銘柄、4,600種類のファインペーパーを、サンプルを見ながらじっくり選ぶことができる。竹尾のスタッフが常駐し、用途などに応じた相談にも気軽に乗ってくれる。ノートやポストカードなどのオリジナルグッズもお洒落。☎06-6232-2240 11:00 AM~8:00 PM 不定休



同じように見えても紙の種類が変われば色も肌触りもまったく違う。1商品につき四つ切りサイズ各3枚まで購入可。

古い活版印刷機があること。ここでは活版印刷を手がける「CAPPAN STUDIO」の工房を兼ねており、土・日・祝日には職人さんの作業を間近で見られることもできる。

オープンから1年、少しずつ一般の「紙好き」たちの来店も増えてきたそう。紙を通じた新たな出会いの場になれるよう、「今後は店内でコンスタントに展示会を催したり、ステーションナリーなどのグッズの種類も充実させていきたい」と同じく竹尾の川井裕子さん。「紙の違いは手で触れるからこそ実感できるもの。この場所があることで、紙にこだわる人が増えてくれれば嬉しいですね」。

大阪水上バス・岸田俊徳の

水辺で会いましょう



大阪水上バス株式会社企画宣伝部課長。ミナミの劇場プロデューサーを経て、関西・大阪21世紀協会にて大阪の文化事業に関わる。2010年より現職。

「クルーズを妄想してみる。」

みなさん、花粉症は大丈夫ですか？ 薬を飲むと眠い、飲まなければティッシュが手放せない。僕にとって最悪の季節がやってきました。休みの日などは外に出るのも億劫で、空気清浄機を最強にして1日のほとんどを機械の前でじっと過ごします。で、何をするかというと、「妄想クルーズ」を楽しみます。



大阪が舞台になっている物語には、大阪天満宮へのお参りに天神橋を渡るシーンなど、よく川や橋、船が登場します。他にも落語「船弁慶」では、難波橋で夕涼みをするシーン、宮本輝の小説には「お化け鯉」が

出てくるシーンなんかもあります。そんな風景を見えない船で遊覧していくのです。

天満橋（八軒家浜）から野崎参りの船や三十石船がたくさんの人を乗せています。一寸法師は、実は大阪出身で、難波（三津寺）から京都に向かい立身出世したというお話だそうで、お椀の舟で淀川を上っていきます。天満橋から枚方まで船で約3時間はかかりますから、お椀の舟なら何時間かかるのか、とても心配です。

……なんて考えていると、あっという間に夕方。少し鼻も落ち着いていたりして、「妄想クルーズ」実践のためにも、一度、アクアライナーに乗りに来ませんか！ 毎日運航していますよ！

◎大阪水上バスのフリーペーパー「フネヤ」第2号ができました！ 港以外にも置いていただいていますので見つけて読んでくださいね！



アクアライナー

☎0570-035-551



http://suijo-bus.osaka/

京阪シンティモールがリニューアル！ グルメ・ペビー&キッズ・ファッション 新店が続々とオープン



京阪電車天満橋駅直結の京阪シンティモールがリニューアル。全国初や大阪市内初の新店オープンを含め、地下1階から2階にかけての店舗が大きく変わる。

まずはグルメのニュース。京阪沿線初出店のチョコレート専門店「リンツシヨコラプティック」や、フォトジェニ

トウミン月報

2019年4月1日発行



[リンツ ショコラ プティック] (営業中)

ックなスムージーがSNSで大人気となった「ジェイティードカフェ」が手がけるサラダケーキ専門店「ジェイティードカフェ&シーズンゼロ」も出店する。



[ジェイティード カフェ&シーズンゼロ] (4月5日オープン)

また、地下1階には「成城石井」や一流の料理人が認める「靖一郎豆乳」の直営店が全国初出店。自家製麺の生パスタが大人気の「金星バスター



[金星バスターカフェ] (5月24日オープン)

が登壇するのは、子育て世代にとって嬉しいニュース。ペビールームも新たに開設され、子ども連れでもゆっくり買い物を楽しめる。



[靖一郎豆乳] (4月26日オープン)



[アカチャンホンポ] (4月5日オープン、※ペビールームは4月26日オープン)

その他、ファッションやコスメも移転やリニューアルによってさらに充実。リニューアルは順次行われており、4月5日にも多くの新店がオープンする。4月26日にはほとんどの店舗が出揃い、5月末にも一部店舗がオープン予定。さまざまなシーンに対応した、さらに魅力的な場所となる。



『島民』はここでもらえます。

- 京阪グループ 京阪電車主要駅/京阪特急プレミアムカー/ホテル京阪 淀屋橋/ホテル京阪 天満橋/ホテル京阪 京橋/グランデ/パナテ京阪天満橋/京阪シティモール/京阪モール
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店]旭屋書店 梅田地下街店/大阪高森内ブックセンター/紀伊國屋書店 梅田本店・グランフロント大阪店・本町店/ジュンク堂書店/MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店/文芸堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店 [公共施設・大学関連施設など]アイスポット/朝日カルチャーセンター/味の素 食のライブラリー/朝日放送テレビラジオ/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市中央公会堂/大阪市立科学館/大阪市立総合生涯学習センター/大阪府役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪梅田サテライト/川の駅はちけんや/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪シティキャンパス/国立国際美術館/CITYNAIL'Sインターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まじ情報センター/少彦神社/中央電気倶楽部/適塾/ドーナカ/ホテルNCB/メビック扇町/立命館大阪オフィス/龍谷大学大阪梅田キャンパス [店舗・医院など]アンドール 本町本店/上町貸自転車/Ultra 2nd/江戸前料理 志津町/天満橋鍼灸整骨院/MJB珈琲店/エルマズグリーン コーヒーカウンター/大西洋飯店/OOO(オー)/カセッタ/喫茶センター/喫茶SAWA/グラスイート中之島/黒門さかえ/コマコフェ/The Court/サトウ花店 中之島本店/ザ・メロディ/シアルベストコーヒー新聞ビル店/じろろ亭/Girond's JR/心齋橋山田兄弟歯科/住友病院/セブンイレブン大阪証券取引所店/タビエスタイル/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャーノ/バスターレ/花かつ/BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/FOLK/フレムハウス/ミニロー/宮崎歯科/やきとりばかや/吉田理容所/LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店]旭屋書店 なんばCITY店/紀伊國屋書店 京橋店/喜久屋書店 阿倍野店/ジュンク堂書店 難波店/福島書店/柳々堂/ループル書店 [公共施設・大学関連施設など]大阪科学技術館/大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市立中央図書館/大阪府立江之子島文化芸術創造センター/川口基督教會 [店舗・医院など]あじさい/アートアンドクラフト/欧風食堂 ミリバル/大阪シティ信用金庫 江戸堀支店/御舟かもめ/カルチャーカフェ上/Calo Bookshop and cafe/写真とプリント 鳥かごキッチン/ネイルサロン スワン/バルビコ/ホテル64オオサカ/MANGUEIRA/Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂/Books 呼文堂/水嶋書房 ぐずはモール店/大阪狭山市立図書館/大阪市立難波市民学習センター/大阪大学企画部/MANGUEIRA/Loop A
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店/恵文社 一乗寺店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/川のほとりの美術館/納屋工房/ターバン・シンパソノ/百練/奈良県立図書館/龍谷ミュージアム
- 東京 往来堂書店(千駄木)/BOOKSループ(吉祥寺)/B&B(下北沢)/隣町珈琲(原宿中庭)/ONLY FREE PAPER(東小金井)/かもめブックス(新宿)

◎バックナンバーが見られます。

最新号の発行と同時に、ひとつ前の号がweb上で閲覧できるようになります。創刊号から見た方はこちらから。<https://nakanoshima-daigaku.net/about/tomin/>

◎定期購読も受け付け中です。

年度ごとに受け付けています。金額や申し込み方法など、まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

お知らせ「島民」の発行サイクルが変わります!

今年度から島民は年4回の発行となります。2019年度の発行日は以下の通りです。

2019年6月1日、9月1日、12月1日、2020年3月1日

配布場所は原則としてこれまでと同じです。今後ともご愛読よろしくお願ひします。

●次号予告 島民vol.130「島民だから見える景色」は6月1日発行です!

編集・発行人/大迫力(株式会社140B)

編集・発行/島民プレス

若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)

松本 創 道田恵理子 山岡恭子(株式会社140B)

〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号

TEL.06-6484-9677 FAX.06-6484-9678

制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)

デザイン/山崎慎太郎

表紙イラスト/奈路道程

印刷/佐川印刷株式会社

何度でも見とれてしまおう、
京都です。



建仁寺（京阪電車 祇園四条駅下車）
「京旅館 おけい庵」 三条けい子

京阪のる人、
おけいはん。

京阪で、おこしやす。

<https://www.okeihan.net>